

# 「根っ子の会」活動記録

2008.11.4 森

日 時： 2008.10.31 (金) 9:30～12:30 天気： 晴

参加者： 今井 熊谷 須藤 田中 森 綿貫 三嶋 三末 9名  
染谷

## 10月31日(金) 定例外活動

10月24日は雨天中止のため、定例外活動を行いました。ヨシ刈りイベントの前準備と打合せを行い、刈払機とカマの手作業配置、集積場所、刈り残しの場所を決めました。

### 《作業記録》

- 1) パーゴラ～フジツル方向の通路ヨシ刈り
- 2) トンボ池～山側への通路ヨシ刈り、木道入口～山側への通路拡幅
- 3) 木道三叉路～国道側への通路整備(ヨシ刈り)

### 《連絡事項》

ヨシ刈りイベント：11月7日(金) 9時30分～12時(9時過ぎに集合)  
ミーティング(東平賀城町会館)：11月14日 10時～  
定例活動：11月21日、28日(金) 9時30分～  
定点観察調査：11月5日(水) 9時30分～  
鳥の観察会：11月24日(祭) 10時～ <参加希望者は連絡ください>

## 10月28日(火) 小金保育園の来園

雲ひとつ無い秋晴れ、10時過ぎに小金保育園の4歳児16名と保母さん4名が徒歩で駐車場より来園しました。根木内防犯隊員一名と、(根っ子の会)から田中と森が付き添って木道を歩いて土橋を経て、芝生広場に到着、お弁当を戴きました。午後からは児玉さんが加わり、須藤さん提供の(名称不明)ゴム輪で飛ばすヒラヒラ紙飛行機を全員に配布しましたが、なかなか上手く飛ばず、お父さんと一緒に自宅で練習することとしました。午後1時30分より、ザリガニ釣りに全員が挑戦し、準備してきたペットボトルの入れものに、夫々水を入れて一匹以上持ち帰りました。最後に、子供たちが整列し、「ありがとうございました」とお礼を言われたときは胸が熱くなり、来年再会する事を約束して、無事に帰園することを祈りました。

<協力:児玉、田中、森>

## 10月30日(木) スズメバチと小金原幼児教室の来園

公園内を散策中にスズメバチの飛来を確認した。湿地のパーゴラ前から追尾するとヨシ原のある一箇所に集中して消えていくので、近くに巣があるものと確信して搜索のため刈り払い機で藪の草刈を進めたところ、案の定、蜂の飛び立つ位置を確かめる事が出来ましたが、蜂の巣を目視する事は出来ませんでした。一旦作業を中止し、30日早朝は気温が下がると予報が出ていますので再度、搜索することとしました。30日9時からアースジェット式殺虫剤を持参し、少しづつ目的点に向かって草刈をしていくと、ある一点から這い出てくる蜂を目視したので、飛び立つ前に殺虫剤を連続照射すること、約5分間で6匹でした。その後出てくる蜂がないことを確認して慎重に刈進むと、直径20cm程度の蜂の巣を発見し、三末氏に駆除を依頼して「すぐやる課」の出動を待ち一件落着となりました。

ついでに一帶を刈り取り、帰宅しようとしたら大勢の子供の一団が公園駐車場に集合してい

るのに出会い、引率者に伺ったら、小金原幼児教室の4・5歳児 40名と引率者6名とのことでした。早速、小スズメバチの死骸を見せて、自然は楽しい事もあるけれど、スズメバチの様に怖いこともあるので蜂を見たらゆっくり逃げてくださいとお話をしたところ、一人の園児が突然手を上げてお喋りを始めました。蜂を見たら、目を合わせず、後ろ向きにゆっくり後ずさりしながら遠くに行ったら急いで逃げ出すとの話でした。早速、私が蜂さんになり飛び廻ったらどうして逃げるのか実演してもらったら大変よく出来たので5歳の子供の素晴らしさに感激しました。着替えて芝生広場に戻ってみると、皆さんが楽しくお弁当を戴いておりましたが、引率の大人の方と公園のことを話していましたが、おトイレが遠いのが大変ですと悲鳴を上げていました。引率者6名のうち常に2名はトイレの往復でした。来年はザリガニ釣りに挑戦してもらうことにしてお別れしました。

<報告:森>



ヨシ刈り準備



小金保育園の皆さん



小金原幼児教室



小スズメバチの巣



どんぐり作戦に植木鉢を寄贈



掲示板を改装



オギが綺麗です



タコノアシが茹であがり